

サポーターが選ぶ 南郷里方言123

発行の趣旨

昨年12月「ふるさとPRグループ」の取り組みとして南郷里地域「方言アンケート」を実施し、回答数が多かった92語の方言を「月刊南郷里6月号」で紹介しました。

今年は「ふるさと魅力発見グループ」（グループ名変更）のメンバー10名が、南郷里地域の方々に知ってもらいたい方言を選び、その意味と簡単な用例を載せた冊子を地域の方々に配布するための取り組みを行ってきました。

半年をかけて方言の意味とその例文を検討し、今回「サポーターが選ぶ南郷里方言123」と題して、その成果を小冊子にまとめ発行することになりました。

この冊子を皆さんに読んでいただき、地域や家庭でのコミュニケーションを深める一助にしていただければと思っています。

表の説明と表記について

- * 123語の方言を品詞（言葉の働きや意味で言葉を分類したもの）に分け、それぞれ、あいうえお順に並べました。
- * 「・」の記号は、「てっとう・て」のように、「てっとう」に「て」が付く表現がある場合に用いています。
- * 「（）」の記号は、「きて（と）くない」のように、アンダーラインのある「て」の代わりに「（と）」と表現される場合に用いています。
- * 「/」の記号は、「いやんす/やんす」のように、両方の表現がある場合に用いています。

方言	意味	用例
----	----	----

動詞（動きを表す言葉）



1	あたる	もらう。もらえる。	今日は、お昼も あたら んわ。
2	いぬ	帰る。	用があるで、もう いぬ わ。
3	いやんす / やんす	居る。	うちの子は、家に いやんす で。
4	おおぼ・する	①付き合い・付き合う。 ②配る、返す。	①ご近所さんと おおぼせ なあかんで。 ②お礼にお菓子をお おぼ する。
5	おっけ	ください。ちょうだい。	そのお菓子 おっけ 。
6	か ^く （い）・て	持ち上げる。持ち上げて。	そのダンス かいて くれん。
7	かざぐ	においをかぐ。	これ、腐ってないか、 かざい でみて。
8	かまへん	構わない。	そのくらいのことは、 かまへん で。
9	きいや	来てな。来てください。	遠慮せんと、話しに きいや 。
10	きて（と）くない	来てください。	一度、家へ きて くない。
11	きばる	頑張る。	よう きばり はるなあ。
12	きゃーる	来られる。	もうすぐお客さんが きゃーる んや。
13	きゃんす	（同年や年下の人が）来る。	今日、友達が家に きゃんす 。
14	きよ（よ一）る	来る。	友達が家に遊びに きよる んや。
15	げこする	帰る。退席する。	もう遅くなったから、 げこ しよまいか。
16	ごうがわく	腹が立つ。	悪口言われて、 ごうがわ いた。
17	ござる	来られる。	昼から、お客さんが ござる らしいで。
18	米をかす	米をとぐ。	はよ、 米をか して。
19	こ（ご）んす	「きゃんす」に同じ。	「きゃんす」に同じ。
20	しかしかする	チクチクする。かゆい。	このマフラーは、 しかしか するなあ。
21	しゃーる	なさる。～する。	おじいちゃんは、まだ何でも しゃーる で。
22	しゃんす	する。	何でも しゃんす 人やなあ。
23	すいっとする	すっきりする。	サイダー飲むと、 すいっと するなあ。
24	せんとい（つ）て	しないで。	お返しは、何も せん とって。

25	せんどする	①疲れる。 ②嫌になるほどする。	①この仕事は せんどする なあ。 ②同じことの繰り返して せんど した。
26	てっとう・て	手伝う。手伝って。	忙しいから、ちょっと てっとう て。
27	なぶる	触る。	大事なもんやから、 なぶる な。
28	はさかまる	はさまる。	歯に何か、 はさかまった 。
29	へがむ	ゆがむ。	この木、 へがんで へんか。
30	まつばる	絡まる。まつわる。	糸が まつばって もうた
31	もんで	戻って。	すぐ もんで くるでな。
32	やーる	いらっしゃる。	ご主人は やーる か。

補助動詞（他の動詞「～」について補助的な役割をする言葉）



33	～とくない	～してください。	いっぺん、遊びに来 とくない 。
34	～やんす	～している。	この子は何でも食べ やんす で。
35	～やんせん	～していない。	お腹が空いてないのか、何も食べ やんせん 。

形容詞・形容動詞（ものの性質や状態を表す言葉）



36	あかん・がな	だめ。よくない。	そんなことしたら、 あかんがな 。
37	あんない	味がない。まずい。	この煮物 あんない わ。
38	いかい	大きい。	いかい 魚が釣れたで。
39	うい	①申し訳ない。 ②気の毒な。	①そんなにしてもらうと、 ういがな 。 ②それは、 うい ことな。
40	えらい	しんどい。つらい。疲れる。	今日の仕事は えらい のう。
41	おおさ・な	おおげさ。	おおさな ことを言うな。
42	おぼこい	幼い。うぶな。	体は大きいけど、まだまだ おぼこい なあ。
43	かんからかん	①カラカラ。 ②堅い。	①日照りで、田んぼが かんからかん や。 ②蛇口を かんからかん に締める。
44	きずつない	気をつかう。	どうもあの人は きずつない なあ。
45	こお（う）と	①つつましい。質素。 ②センスがよい。	①あの人は こお とな生活をしてはる。 ②あの人の服装は、 こう とやなあ。
46	さみしない	寂しい。	子どもがいないと、 さみしない なあ。
47	じじくさい	みっともない。	その格好は、 じじくさい で。
48	じゆるい	ぬかるんだ。	雨が降って、道が じゆるい 。
49	しょうびん・な	わずかな。みすぼらしい。	今日の弁当は しょうびん やなあ。
50	しんきくさい	じれったい。もどかしい。	しんきくさい なあ。もっとはよせい。
51	ずんべらぼん	凹凸がない。何もない。	この土地は、 ずんべらぼん としているなあ。
52	だだけ(くさ)	①とめどなく。むやみに。 ②余分に。	①お金を だだけ に使うな。 ②物が だだけ にある。
53	だんない	構わない。どうもない。	そんなことぐらい、 だんない で。
54	ちゅんちゅん	①熱い。 ②スズメの幼児語（名詞）	① ちゅんちゅん に湯を沸かす。 ② ちゅんちゅん が鳴いてる。
55	てんぼもない	とんでもない。たいそうな。	それは、 てんぼもない 話やわ。
56	どうあろい	なんでもない。大丈夫だ。	そんなこと、 どうあろい 。
57	なまずけない	ものぐさな。だらしない。	なまずけない ことではあかん。
58	にすい	鈍い。ダメだ。	この乾電池は、 にすい なあ。
59	ねちこい	粘り強い。しつこい。	おまんは、いつまでも ねちこい なあ。
60	のくとい	温かい。	この服は のくとい なあ。
61	のんのい	暖かいの幼児語。	今日は のんのい 日やなあ。

62	はしかい	チクチクする。	背中が はしかい から、かいて。
63	ひだるい	ひもじい。お腹がすいた。	お昼近いから、そろそろ ひだるい わ。
64	ほっこり	うんざりする。疲れる。	もう仕事は ほっこり や。
65	よくどしい	欲張りな。	一人でそんなに取って、 よくどしい やつや。
66	よぞい	恐ろしい。たちが悪い。	あの人は よぞい で。
67	よぞくろしい	いやらしい。汚らしい。	あいつは、本当によぞくろしいやつや。

名詞 (ものの名前)



68	あまんぼ	干し柿。「つりんぼ」とも	この あまんぼ 、おいしいで。
69	あわい・さ	間。すきま。	これを本と本との あわい に入れといて。
70	あんばい	ちゃんと。上手に。	何でも あんばい せなあかんで。
71	いきしま (な)	行く途中。	いきしま に、あの人と会ったわ。
72	うっとこ	うちのとこ。	うっとこ では、そう言わんなあ。
73	おこうじる	報恩講のときの味噌汁。	報恩講の おこうじる はうまいなあ。
74	おこない	五穀豊穡を祈る年頭の行事	明日は おこない やから、休むわ。
75	おすもじ	五目寿司。	今日は おすもじ をつくったで。
76	おっちゃん	子どもが座ること。	ここで おっちゃん していよか。
77	おてし	小皿。	そこの おてし 取って。
78	おまん・ら	お前 (あなた) ・たち。	おまんら 、何してるんや。
79	おんごろ / おごろ	もぐら。	畑に おんごろ が穴を掘ってたんや。
80	おんた	雄。	この猫は、 おんた か、めんたか。
81	かいどぐち	門口。入口。	かいどぐち で失礼するわ。
82	きたなか	一反の半分。	あの田んぼは、 きたなか くらいあるかな。
83	きりばん	まな板。	その きりばん を取って。
84	げ (け) った	最後。びり。	走り競争では、いつも げ ったやった。
85	げべっちゃ (た)	同上	同上
86	げんぞう	結婚後の友人への披露。	昨日、友人の げんぞう によばれたわ。
87	ごそ (がき) わら	草や低木が茂った原。	草刈りせんと、畑が ごそ わらになるで。
88	ごんた	やんちゃ。わがまま。	あいつは、ほんまに ごんた やで。
89	ざいしょ	いなか。集落。地域。	今日は ざいしょ の寄りがあるんや。
90	しゃしゃくやき	干渉する。お節介やき。	あの人は、 しゃしゃくやき やなあ。
91	じゅんじゅん	すき焼き。	ウナギの じゅんじゅん が食べたいなあ。
92	すいばり	とげ。	手に すいばり が刺さったみたいやわ。
93	せんちば	便所。	ちょっと、 せんちば を貸して。
94	だいだい	抱っこ。	疲れたなら、 だいだい しょーか。
95	てべん	点。	その漢字、 てべん が要るやろ。
96	でんち・こ	ちゃんちゃんこ。はんてん。	その でんちこ は、温かそうやな。
97	どんつき	突き当り。	その家は、この道の どんつき にあるで。
98	ながた・ん	菜切り包丁。	この ながたん は、よう切れへんな。
99	ば (ば) っぱ	お餅の幼児語。	ぼん、 ば っぱ食べへんか。
100	ひんなか	半日。日中。	ひんなか 仕事になった。
101	ぼんのくそ	①運。 ②首筋のへこんだところ。	① ぼんのくそ が悪くて負けたんや。 ② ぼんのくそ あたりが痛むなあ。
102	みざら	すのこ。	その みざら の下を掃除しておいて。
103	めい (一) ぼ	ものもらい。	目に めい ぼができたんや。

104	めめくそ	①めやに。 ②ほんの少し。	①顔にめめくそがついてるで。 ②そんなめめくそくらいなら、要らんわ。
105	めんた	雌。	この猫は、おんたか、めんたか。
106	～ぺら	～の方。	それは、家の北っぺらに置いて。

副詞（状態や程度を表す言葉）



107	いっせつ	いつも。	いっせつお世話になって、おおきに。
108	ぎょうさん	たくさん。	お菓子をぎょうさんもろた。
109	こっきし	これっぽちも。すべて。	借りたもんは、こっきし返せよ。
110	じみっと	じめじめと。ひんやりと。	今日は、じみっとするなあ。
111	ちゃっちゃ	①さっさと。 ②お風呂の幼児語（名詞）	①ちゃっちゃとやりや。 ②ちゃっちゃに入ろか。
112	よーけ（一）け	たくさん。	あの人は、服をよーけ持ってはる。

挨拶用語（相手にかける儀礼的な言葉）



113	おいとくない	しまってください。	これを、どうぞおいとくない。
114	おきばりやす	精が出ますね。ご苦労様。	今日も、おきばりやすなあ。
115	おこしやす	いらっしゃいませ。	遠いところから、ようおこしやす。
116	おしまいやす	終わってください。	日も暮れたで、おしまいやす。
117	おせんどさん	お疲れ様。	遅うまでお仕事、おせんどさん。
118	ごたいぎさん	たいそうなことで。	この度は、ご大儀さんで。
119	ごみょうさん・に	お気遣いなく。遠慮します。	お返しは、ごみょうさんにしとくなはれや。
120	しもとくない	終わってください。	そろそろ仕事をしもとくない。
121	だしかいな（ね）	いいじゃないか。	ちょっと寄って行きいな～、だしかいな。
122	ほなな	それでは。じゃあね。	帰るで、ほなな。

接続詞（前の文と後の文をつなげる言葉）



123	ほんで	それで。	ほんで、どうしたん。
-----	-----	------	------------

編集後記

南郷里の方言アンケートを集計して、聞いたことのない方言がまだまだたくさんあるということに驚かされました。このまま時間とともに消えていく運命にある方言が愛しく思えるとともに、方言の持つ温もりが地域の人と人の心をつなげる絆になっていることを改めて感じました。

この冊子を読んでいただき、ぜひ方言の温もりを実感してもらい、方言を見直すきっかけにして欲しいと思います。



発行日 令和4年1月1日
 発行者 南郷里地域づくり協議会（事務局 南郷里まちづくりセンター内 電話62-0287）
 編集者 南郷里地域活力プランナーサポーター魅力発見グループ
 令和2年度メンバー 外村哲郎 森川 淳 中川 桂 山田章之 加納伸一郎 吉居 勉 森 均
 高木 康
 令和3年度メンバー 高木 康 外村哲郎 松宮 宏 木村昌弘 小川隆昭 田中義隆 宮川清治
 上田俊彰 杉山茂人 廣 繁子

この冊子に書かれている方言の意味や用例について、ご質問やご意見などがあれば、南郷里地域づくり協議会事務局までご連絡ください。また、今後の取り組みとしましては、方言の使用についての実態調査を、高齢者の方や小・中学生などの皆さんを対象に行いたいと考えていますので、その際はご協力をよろしくお願いいたします。